



miR-140-3pによる骨芽細胞からのオステオカルシン産生促進

公衆衛生学

教授

勝山 博信 *Hironobu Katsuyama*

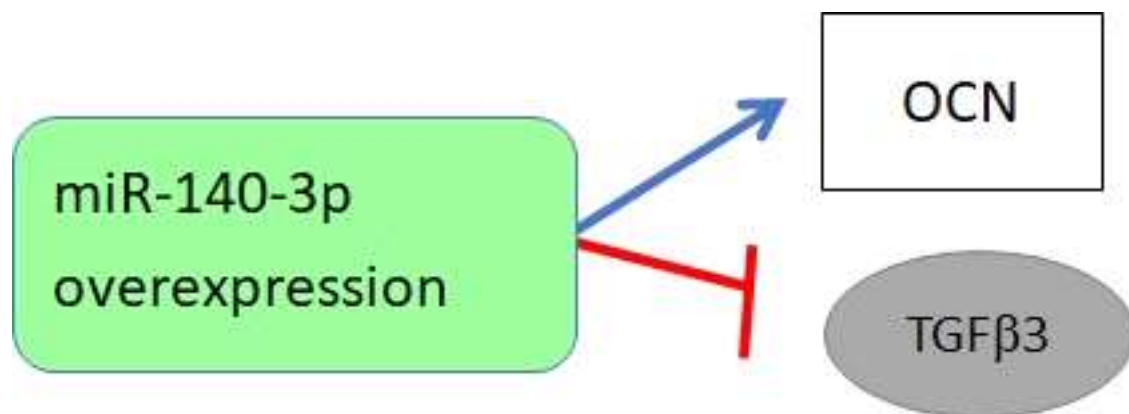
キーワード

miRNA、骨芽細胞、オステオカルシン



シーズ内容

骨芽細胞から分泌されるmiR-140-3pにオステオカルシン産生促進作用のあることを見出した。オステオカルシンは骨に対する作用だけでなく、全身の臓器に対してホルモン様作用を有することが明らかとなっている。このmiR-140-3pを投与し、全身に対する影響を検討することで、骨代謝だけでなく新たな作用の薬を開発できると考える。



骨芽細胞におけるmiR-140-3pの機能

想定される産業への応用

- miR-140-3pの封入体を投与し、骨代謝に及ぼす影響を検討する
- miR-140-3pを投与することにより変動する新規バイオマーカーを検索する

特許出願状況：出願済

【お問い合わせ】

川崎医科大学 産学連携知的財産管理室

Tel:086-462-1111 (内線:26030・26049)

mail: s-renkei@med.kawasaki-m.ac.jp